



## 2025年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年2月7日

上場会社名 京阪ホールディングス株式会社 上場取引所 東  
コード番号 9045 URL <https://www.keihan.co.jp/>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 石丸 昌宏  
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 グループ管理室 経理部長 (氏名) 城野 教雄 TEL 06-6944-2527  
配当支払開始予定日 —  
決算補足説明資料作成の有無：有  
決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2025年3月期第3四半期の連結業績(2024年4月1日～2024年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第3四半期	233,997	13.9	36,561	30.2	35,894	30.3	24,897	15.2
2024年3月期第3四半期	205,530	13.4	28,081	60.7	27,553	55.0	21,613	32.6

(注) 包括利益 2025年3月期第3四半期 26,534百万円(8.8%) 2024年3月期第3四半期 24,379百万円(33.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期第3四半期	233.91	233.86
2024年3月期第3四半期	201.58	201.53

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期第3四半期	852,786	315,772	36.2
2024年3月期	820,224	304,820	36.4

(参考) 自己資本 2025年3月期第3四半期 308,633百万円 2024年3月期 298,487百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	0.00	—	35.00	35.00
2025年3月期	—	0.00	—		
2025年3月期(予想)				40.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2025年3月期の連結業績予想(2024年4月1日～2025年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	311,900	3.2	39,200	15.6	37,700	13.9	26,500	6.5	247.11

(注1) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

(注2) 当社は2024年11月8日開催の取締役会決議に基づき自己株式の取得を行っておりますが、連結業績予想の「1株当たり当期純利益」については、自己株式の取得の影響を考慮しておりません。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：有
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：有
- ④ 修正再表示：無

(注)①の詳細は、添付資料8ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更に関する注記)」をご覧ください。

③の詳細は、添付資料8ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計上の見積りの変更に関する注記)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

2025年3月期3Q	113,182,703株	2024年3月期	113,182,703株
2025年3月期3Q	9,816,550株	2024年3月期	5,956,520株
2025年3月期3Q	106,439,295株	2024年3月期3Q	107,220,518株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通しなどの将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績などは様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項などについては、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算補足説明資料の入手方法)

「2025年3月期第3四半期 決算補足資料」は本日、当社ウェブサイトに掲載するとともに、TDnetで開示しております。

## ○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当四半期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当四半期の財政状態の概況 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
(四半期連結損益計算書) .....	6
(四半期連結包括利益計算書) .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(会計方針の変更に関する注記) .....	8
(会計上の見積りの変更に関する注記) .....	8
(セグメント情報等の注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	10
(継続企業の前提に関する注記) .....	10
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記) .....	10

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当四半期の経営成績の概況

当第3四半期連結累計期間につきましては、当社グループでは、各事業にわたり積極的な営業活動を行って業績の向上に努めました結果、営業収益は233,997百万円（前年同期比28,467百万円、13.9%増）、営業利益は36,561百万円（前年同期比8,480百万円、30.2%増）となり、これに営業外損益を加減した経常利益は35,894百万円（前年同期比8,340百万円、30.3%増）となりました。さらに、これに特別損益を加減し、法人税等及び非支配株主に帰属する四半期純利益を控除した親会社株主に帰属する四半期純利益は24,897百万円（前年同期比3,283百万円、15.2%増）となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

#### ①運輸業

鉄道事業におきましては、旅客需要の回復に伴う輸送人員の増加などにより、増収となりました。

これらの結果、運輸業全体の営業収益は69,052百万円（前年同期比1,875百万円、2.8%増）となり、営業利益は11,672百万円（前年同期比1,407百万円、13.7%増）となりました。

#### ②不動産業

不動産販売業におきましては、「ザ・ファインタワー大阪肥後橋」などマンション販売の増加や事業用地の売却などにより、増収となりました。

不動産賃貸業におきましては、「ステーションヒル枚方」や未来医療国際拠点「Nakanoshima Cross」（中之島クロス）の開業などにより、増収となりました。

これらの結果、不動産業全体の営業収益は102,068百万円（前年同期比20,020百万円、24.4%増）となり、営業利益は18,042百万円（前年同期比4,674百万円、35.0%増）となりました。

#### ③流通業

百貨店業におきましては、インバウンド売上の好調などにより、増収となりました。

ショッピングモールの経営におきましては、2024年9月6日に「枚方モール」が開業したことなどにより、増収となりました。

ストア業におきましては、「THE STORE 枚方モール店」の開業や、2023年12月に開業した「フレスト香里園店」の寄与などにより、増収となりました。

これらの結果、流通業全体の営業収益は42,452百万円（前年同期比2,644百万円、6.6%増）となり、営業利益は2,259百万円（前年同期比71百万円、3.3%増）となりました。

#### ④レジャー・サービス業

ホテル事業におきましては、インバウンド需要の取り込みなどにより、増収となりました。

これらの結果、レジャー・サービス業全体の営業収益は30,649百万円（前年同期比3,932百万円、14.7%増）となり、営業利益は4,795百万円（前年同期比1,618百万円、50.9%増）となりました。

#### ⑤その他の事業

その他の事業におきましては、インバウンド需要の取り込みによる「GOOD NATURE STATION」利用者数の増加などにより、営業収益は3,748百万円（前年同期比322百万円、9.4%増）、営業損失は22百万円（前年同期は609百万円の営業損失）となりました。

(2) 当四半期の財政状態の概況

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、受取手形、売掛金及び契約資産が減少したものの、有形固定資産や販売土地及び建物が増加したことなどにより、前連結会計年度末から32,562百万円(4.0%)増加し、852,786百万円となりました。

負債につきましては、工事代金などに係る未払金が減少したものの、有利子負債が増加したことなどにより、前連結会計年度末から21,610百万円(4.2%)増加し、537,014百万円となりました。

純資産につきましては、自己株式の取得があったものの、利益剰余金が増加したことなどにより、前連結会計年度末から10,951百万円(3.6%)増加し、315,772百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、前回公表数値(2024年11月8日)から変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	22,828	27,916
受取手形、売掛金及び契約資産	47,292	29,983
有価証券	177	468
販売土地及び建物	152,330	158,577
商品	1,692	2,192
その他	16,567	25,309
貸倒引当金	△293	△329
流動資産合計	240,594	244,117
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	203,487	235,258
機械装置及び運搬具(純額)	17,871	16,833
土地	232,462	235,993
リース資産(純額)	10,016	10,695
建設仮勘定	35,016	25,916
その他(純額)	3,695	4,232
有形固定資産合計	502,549	528,931
無形固定資産	8,106	8,143
投資その他の資産		
投資有価証券	50,224	52,470
長期貸付金	154	106
繰延税金資産	1,970	1,670
退職給付に係る資産	3,930	3,970
その他	12,809	13,481
貸倒引当金	△116	△106
投資その他の資産合計	68,973	71,594
固定資産合計	579,629	608,669
資産合計	820,224	852,786

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	11,032	11,350
短期借入金	77,694	89,839
1年内償還予定の社債	—	20,000
未払金	45,489	28,028
未払法人税等	5,412	5,528
前受金	16,499	19,318
賞与引当金	2,994	1,870
その他	16,069	18,876
流動負債合計	175,192	194,813
固定負債		
社債	90,000	90,000
長期借入金	170,631	169,050
長期未払金	110	108
リース債務	9,793	10,410
繰延税金負債	3,593	4,598
再評価に係る繰延税金負債	30,028	30,028
役員退職慰労引当金	76	62
退職給付に係る負債	14,490	14,344
その他	21,486	23,596
固定負債合計	340,211	342,200
負債合計	515,403	537,014
純資産の部		
株主資本		
資本金	51,466	51,466
資本剰余金	28,798	28,782
利益剰余金	189,411	210,555
自己株式	△21,496	△33,282
株主資本合計	248,180	257,521
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	10,182	11,399
土地再評価差額金	36,400	36,400
為替換算調整勘定	139	73
退職給付に係る調整累計額	3,586	3,238
その他の包括利益累計額合計	50,307	51,111
新株予約権	101	101
非支配株主持分	6,231	7,037
純資産合計	304,820	315,772
負債純資産合計	820,224	852,786

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
営業収益	205,530	233,997
営業費		
運輸業等営業費及び売上原価	145,084	161,374
販売費及び一般管理費	32,364	36,062
営業費合計	177,449	197,436
営業利益	28,081	36,561
営業外収益		
受取利息	20	21
受取配当金	483	567
持分法による投資利益	43	137
雇用調整助成金	21	—
新型コロナウイルス感染症対策補助金	39	—
雑収入	485	781
営業外収益合計	1,093	1,508
営業外費用		
支払利息	1,346	1,571
雑支出	274	603
営業外費用合計	1,621	2,175
経常利益	27,553	35,894
特別利益		
補助金	557	580
受取補償金	—	255
工事負担金等受入額	80	115
固定資産売却益	4,492	3
投資有価証券売却益	1	—
特別利益合計	5,130	955
特別損失		
固定資産除却損	419	621
固定資産圧縮損	1,372	157
投資有価証券評価損	397	10
その他	12	—
特別損失合計	2,202	789
税金等調整前四半期純利益	30,482	36,059
法人税、住民税及び事業税	7,188	9,417
法人税等調整額	757	913
法人税等合計	7,945	10,331
四半期純利益	22,536	25,728
非支配株主に帰属する四半期純利益	922	830
親会社株主に帰属する四半期純利益	21,613	24,897

(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
四半期純利益	22,536	25,728
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,673	1,219
退職給付に係る調整額	111	△348
持分法適用会社に対する持分相当額	58	△65
その他の包括利益合計	1,842	806
四半期包括利益	24,379	26,534
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	23,433	25,701
非支配株主に係る四半期包括利益	946	832

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

## (会計方針の変更に関する注記)

(「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。

法人税等の計上区分(その他の包括利益に対する課税)に関する改正については、2022年改正会計基準第20-3項ただし書きに定める経過措置及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日。以下「2022年改正適用指針」という。)第65-2項(2)ただし書きに定める経過措置に従っております。なお、当該会計方針の変更による四半期連結財務諸表への影響はありません。

また、連結会社間における子会社株式等の売却に伴い生じた売却損益を税務上繰り延べる場合の連結財務諸表における取扱いの見直しに関連する改正については、2022年改正適用指針を第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。当該会計方針の変更は、遡及適用され、前年四半期及び前連結会計年度については遡及適用後の四半期連結財務諸表及び連結財務諸表となっております。なお、当該会計方針の変更による前年四半期の四半期連結財務諸表及び前連結会計年度の連結財務諸表への影響はありません。

## (会計上の見積りの変更に関する注記)

退職給付に係る会計処理において、数理計算上の差異及び過去勤務費用の費用処理年数は、従来、従業員の平均残存勤務期間以内の一定の年数(主として12年)で費用処理しておりましたが、平均残存勤務期間がこれを下回ったため、第1四半期連結会計期間より費用処理年数を主として11年に変更しております。

なお、当該変更による当第3四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)

1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	運輸業	不動産業	流通業	レジャー・サービス業	その他の事業	合計	調整額(注)1	四半期連結損益計算書計上額(注)2
営業収益								
外部顧客への営業収益	65,770	71,105	39,408	26,231	3,009	205,526	3	205,530
セグメント間の内部営業収益又は振替高	1,406	10,942	398	484	416	13,649	△13,649	—
計	67,177	82,048	39,807	26,716	3,426	219,176	△13,646	205,530
セグメント利益又は損失(△)	10,264	13,368	2,187	3,176	△609	28,388	△307	28,081

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去及び各報告セグメントに配分していない当社の損益であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)

1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	運輸業	不動産業	流通業	レジャー・サービス業	その他の事業	合計	調整額(注)1	四半期連結損益計算書計上額(注)2
営業収益								
外部顧客への営業収益	67,586	90,919	41,895	30,257	3,335	233,994	3	233,997
セグメント間の内部営業収益又は振替高	1,465	11,149	557	391	412	13,977	△13,977	—
計	69,052	102,068	42,452	30,649	3,748	247,971	△13,973	233,997
セグメント利益又は損失(△)	11,672	18,042	2,259	4,795	△22	36,746	△185	36,561

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去及び各報告セグメントに配分していない当社の損益であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2024年11月8日開催の取締役会決議に基づき、自己株式3,877,300株の取得を行いました。この取得等により、当第3四半期連結累計期間において自己株式が11,786百万円増加し、当第3四半期連結会計期間末において自己株式が33,282百万円となっております。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
減価償却費	15,008百万円	16,284百万円